

あたみ 市議会だより

第61号

令和7年
2月10日

- P2～7 令和6年11月定例会
質疑および一般質問（要旨）
- P8 議会のはてな？・議員研修会
- P9 令和6年11月定例会 議決結果
賛否が分かれた議案
- P10 討論・委員長報告
- P11～12 議会からの報告・お知らせ
委員会行政調査報告
令和7年2月定例会の主な日程

令和6年11月定例会について

11月定例会は、11月27日から12月17日まで21日間の会期で開催し、議案6件、報告2件、同意3件、諮問1件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：千歳川沿いの桜並木

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.lg.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。



熱海市議会HP

新型コロナウイルス感染症ワクチンについて



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 境界知能にある方々への支援
- ※カスタマーハラスメント防止対策

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 新型コロナウイルス感染症は5類となり、ワクチンは任意接種となった。高齢者の多い本市、正確な情報が求められる。10月1か月間でどのくらいの方がワクチン接種されたのか、ワクチンの種類を伺う。また県から市に移管された相談窓口の相談状況も併せて伺う。

答弁 新型コロナウイルスワクチンについては今年度より重症化する割合の高い65歳以上の方及び60歳から64歳までで心疾患等一定の基礎疾患を有する方などを対

象としたB類定期接種として10月より接種を開始した。使用するワクチンの種類と数量は、国が承認しているワクチンとしては、mRNA（メッセンジャー）ウイルス（エヌエー）ワクチンとして4種類、組換えタンパクワクチンとして1種類の合計5種類である。現在、市民の接種に使用しているワクチンについてはファイザーと第一三共のmRNAワクチンで、その比率は前者が概ね9割、後者が1割となっている。10月の接種開始から1か月間

の接種者数は963人で、65歳以上人口の6・5%にあたる。なお、令和5年に実施された秋接種の同年12月末時点の接種率は48・7%となっている。また、窓口での相談状況について、10月の接種開始以降、対応した事案は特にない。

公共交通について

小中学生の学力・学習状況調査について

質問 6月に公共交通計画が公表され、まもない9月に湯く遊くバスが運行停止となった。原因は運転士不足とのことだが、必要な運転士の数や採用実績を市は把握しているのか。

答弁 必要な運転士については、統計により把握している。採用実績等については、バス会社が他の地域も含めて人数を調整しているため、回答は難しいとのことであり把握できていない。

質問 それも分からず、向こう5年間バス路線現状維持とする計画の妥当性は、今も減便が続いているが。

答弁 バス会社が早期再開を目指していることを聞いており、解消を見込むと考える。

意見 根拠が無く、まるで他人事。路線縮小に対する備えがまるで考えられて

いない。縮小された時の悪影響が大きい路線、代替措置が可能な路線を早期に把握すべき。

質問 国の学習状況調査によると、本市では動画やSNSを長時間視聴する児童・生徒が「かなり多い」と評されている。具体的な値は

答弁 小学校中学校で若干の違いはあるが、1日3時間以上ゲーム・動画視聴等に費やしている割合は、小学生で38・3%（全国比+8ポイント）、中学生で42・5%（同+10ポイント）。スマホ等の所持率上昇や、家庭学習の重要性の認識が希薄であることが原因と考えられる。

意見 スマホの所持率上昇は、熱海だけではなくう。では、なぜ熱海でこうなるのか。子どものあそび場が少ない等、構造面から考えて欲しい。



やまだ かげあき
山田景照 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- インバウンド需要捕捉に向け
- ※OTA活用の徹底

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質 疑 一 般 質 問

【質問】 条例改定の目的と金額の根拠、改定期を令和7年3月1日とすることについて説明を求める。

【答弁】 昨今のマイナンバーカードの利活用の拡充により、新規、更新、再交付等の手続きの増加に加え、外国人の転入手続き等により、市民生活課窓口は大変混雑している。住民異動手続の繁忙期である4月前に、混雑への対応策として、窓口業務の約50%を占める各種証明書発行業務をコンビニ交付利用へ誘導するため、手数料

100円の減額措置を導入するものである。

【質問】 熱海市スポーツ少年団が公共施設を使用する場合、その使用料金は減免されているが、福祉センター体育室はこの限りでない。各団体は少子化により活動費収入が減少、物価高騰、金利引上げによる団体保険料の上昇など、その運営は大変厳しい状況にある。よって児童生徒の教育に資する使用には、使用料金減免は図れないか。

【答弁】 条例により民生委員児童委員協議会

などの福祉関係諸団体が地域福祉の推進に資する活動を行うために使用する場合に減免することとなっております。この目的以外ではご負担いただくことをご理解いただきたい。

【要望】 これは児童福祉に資するものである。減免を図るよう求める。また物価対策として、スポーツ少年団への活動費助成引上げを要望する。

熱海市手数料徴収条例の二部改正について 総合福祉センターの施設使用料について



すぎやまきょうへい
杉山 恭平 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■ 台風 10 号 による被害と復旧予算 ■ 救急安心電話相談窓口 #7119

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



高齢者外出支援に関する福祉事務所内の検討内容について 災害時に設置される避難所の環境問題解消について



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 上宿町市有地の活用
■ 来宮神社前の交通混雑の緩和

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 高齢者外出支援対策における、現在の状況について経過の報告を求める。

【答弁】 令和6年4月から検討を開始しており、外出支援については、高齢者の分布状況、公共交通路線、移動販売ルートなどをマップングする作業を行ってきた。結果、バス路線のない地域にも一定数の高齢者の居住があり、南熱海地区ではタクシーの待機数が少ないこと、バス等の利用可能な地域でも価格上昇により金銭的負担増加による課題があるなど、地域ごとに課題感が異なることがわかってきた。今後については、引き続き検証を進めるとともに、様々な議論を重ねながら取り組むべき施策の方向性を導いていきたいと考えている。

【要望】 現在行われている試行策では個人の負担金が発生している。これを減少させる制度設計をこれまで要望してきている。早急に結論を出し、新年度に予算付けされるよう強く要望する。

【質問】 災害時、市民の避難所としての学校体育館の環境整備をどのように考えているか。

【答弁】 体育館に冷暖房設備は設置されておらず、高温の時は機動性のあるスポットクーラーや大型扇風機を使用して空調を行っている。冷暖房設備の設置は施設の構造や築年数を考慮すると難しいため、現在あるスポットクーラーを増やして対応する。

質問 うみえーる長浜の経済波及効果と費用対効果、また行政の評価と今後の課題は。

答弁 直売所の売上は平成26年度の約1,000万円から令和4年度は約2,340万円、特設市の売上は令和2年度の約1,000万円から令和4年度は約2,320万円と倍増。直売所と特設市の経済波及効果は約6,000万円で費用対効果は6・27と試算される。長浜海浜公園及び多賀観光協会の取組により産み出される地域への経済効果は

高いものと評価している。長浜海浜公園は市内では貴重な広場であり、また南側にエリアが拡大することから、さらに有効に活用できる余地が大きく、改めてエリアのグランドデザインを描くことが必要である。

質問 これまで多賀観光協会が市・県（市経由）に対し、施設整備等の要望を行った結果、全体的な予算がないという理由から、積み残しが増えている状況だが、令和元年度から令和5年度決算では公園等管理経費

の不用額は合計で約1億700万円であったがこれでも予算が足りなかったということか。また計画的な施設整備計画の必要性は。

答弁 長浜海浜公園の重要性は十分認識しており、これまでのご指摘も踏まえ、今後も予算の確保、予算執行に努め年次計画等の作成について速やかに対応する。

長浜海浜公園・うみえーる長浜について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

- 今後の観光振興施策の推進
- 介護人材の確保

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



トイレトレーラーについて／ 障がい者福祉について



せんみょう じ
泉明寺みずほ 議員

自民党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

- ※ダイバーシティ宣言をしている街であること
- インバウンド

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 トイレトレーラーの整備を求め質してきたが市は購入費用、平時での運用、車輛を操作できる人材確保等の問題点を掲げ導入に積極的ではなかった。今回少なくとも購入費用の課題についてはハードルが下がると考えられる。（政府による避難所の環境改善に向けた防災備蓄品導入費用を補助する方針）この機会に、改めて整備の検討をしないものか。

答弁 現時点で、国、県等からの説明はないため、制度の詳細は今後確認する。

要望 オーバーツーリズムによるトイレの課題もある。家庭での備えは勿論の事、その上で皆が使える衛生的で環境の良いトイレを備える事は命を守るために絶対に必要である。

質問 発達障がい者の支援施設の拡充を求める声は少なからずある。例えば放課後等デイサービスは利用希望者が多く利用できない場合もあると聞く。また18歳を超えても親の終業時間まで預かってほしいニーズがあるが、施設は手一杯でこれ以上の拡充は難しい状況にある。この様な市民の困り事について何か手立てはないか。

答弁 放課後等デイサービスについては今後利用者増加の傾向を予測し事業所確保に努める。18歳以上の方の日中活動系サービスに対する時間延長等のニーズについては、安定したサービスを提供するための人材確保等が必要となるため、市内の事業者の現状や課題を伺い、必要な予算措置を行なっていく。

質問 政府が閣議決定した経済対策の「重点支援地方交付金」の姿が見えてきた。政府は地方自治体に物価高騰に苦しむ低所得世帯支援などの給付を早く予算化することを求めている。住民税非課税一世帯当たり3万円を給付。住民税非課税世帯の子ども一人当たり2万円の追加給付などを予定している。小中学校給食費支援、中小企業、観光業、医療・介護・保育施設、商店街などへ、エネルギー価格や食料品価格等の物価高騰に対する支援

質問 補聴器購入助成は多くの市民が待ち望んでいる。補聴器購入助成に向けた検討会における制度設計はど

回答 国の制度設計を踏まえ、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援することを目的とする事業について、具体的な内容の精査を行い、速やかな予算措置を実施していく。

国の「重点支援地方交付金」の準備について 補聴器購入助成について



たかい かずゆき
高井一幸 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 防災・減災対策
- 子育てと学校教育問題

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



ごとう ゆういち
後藤雄一 議員

公明熱海

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- GIGAスクール端末の更新

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



熱海市脱炭素ロードマップ策定について 聴覚補助機器の積極的な活用への支援について

質問 2022年9月、本市はゼロカーボンシティを表明し、地球温暖化対策に大きな一歩を踏み出し第三次熱海市環境基本計画を策定した。策定趣旨に基づき熱海市脱炭素ロードマップの策定にあたり、市民の意見聴取はしているのか。

回答 環境審議会における市民メンバーから地域の視点や市民の立場に立った具体的な提言や意見を積極的に聞き取り、取り入れる。また、現在実施している※パブリックコメントにより、市民の皆様から広く意見を募集し、寄せられた意見については、環境審議会の場に付し、必要に応じて本案に反映していく。

質問 補聴器購入費助成制度の実施にあたり、課題となる点はあるのか。

回答 課題としては、人によっては補聴器の装着に違和感を感じ、次第に補聴器を使わなくなってしまう事例や、補聴器が小型化しているため紛失や誤って壊してしまう事例などが挙げられる。また、補聴器は医療機器でありクリーニングや電池交換など定期的なメンテナンスが必要となる。必要なメンテナンスがされない場合聞こえの状態が悪くなり、本来の効果が得られず使用できる年数も短くなってしまうので、購入後の管理を丁寧に行っている。捉えている。



にいのようへい
新野陽平 議員

明日の熱海

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 今後の網代活性化策
- 空き家対策の進捗と今後の対応

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



防災時の福祉避難所との協力体制について
教育の質向上施策について

質問 市内3か所の福祉避難所と防災時における入所支援等各種連携をどのように行う予定か。

答弁 大規模災害時は指定避難所に避難された方のうち、配慮を要する方について市が福祉避難所まで移送することとなる。

要望 現状でも余力に限られる中、災害時には通所者に加え大勢の要配慮者まで受け入れた上で命を預かる重責を担えるのか、職員や現入所者の命も守りながら果たして福祉避難所として機能できる

のかを施設関係者は憂慮している。不安感解消のため、平時も含めた更なる協力連携の構築をお願いする。

質問 教育の質を上げる要素の一つとして教員の子どもたちに接する時間の確保が挙げられ、本市教育振興基本計画でも教職員の多忙解消を謳っているが、現状何を進めているか。

答弁 授業におけるシステム化やペーパーレス化の推進により、教職員の業務の負担軽減を推進している。また、子どものタブレット端末の利用で授業準備

備や授業支援の効率化、提出物等の評価時間の効率化等にも取り組んでいる。

要望 ICT教育や英語教育も付け焼き刃的に取り組むのではなく、あくまで主眼は子どもたちの将来に置き、何を考え何を備えることが子どもたちにとってベストになるのかといった将来像から俯瞰して教育施策を考えていただきたい。

小中学校の登下校の見守りについて
買い物難民、交通弱者対策について



あか こういち
赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 糸川遊歩道修景整備
- 学生消防団活動認証制度

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 登下校の見守りについて、災害などの緊急時には、登下校時の子どもと連絡を取れる手段はあるか。

答弁 そのような手段はないが、緊急時には保護者と密に連絡を取り合いながら、警察と連携して対応していく。

質問 買い物難民、交通弱者対策として本年もまとめつ号が市内を走っているが、成果はいかに。

答弁 令和5年の実績では4か月で1709人と利用が増加しており、地域の移動手段として認知されてきている。

質問 交通弱者対策を本格的に行っていくためにも、まずは交通空白地帯にどれだけの市民がいるのかGISを活用し、可視化された交通空白地帯の地図を作成するべきと思うがいかがか。

答弁 今後、交通課題解消の検討をしていくためにも、詳細な地図の作成は必要だと考えている。



いなむら ちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

- 新幹線通学支援
- お達者年齢を伸ばす取組

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



「子ども商品券」・「頑張ろう商品券」の 支給について／就学前保育・教育の完全 無償化について

【質問】 熱海の最近

17年間の出生数は、202人から82人に59・41%も減少し、全国平均より26%も高い減少率であり、高齢化率は49%で全国平均より20%も高い状況である。長泉町で喜ばれている0・3・6歳児への1万円の「子ども商品券」の支給、さらに高齢化率の高い熱海は75・80・85歳の皆さんへ1万円の「頑張ろう商品券」の支給を。

【答弁】 来年度、補聴

器購入費の助成や多子世帯助成制度の拡充等の準備を進めている。

【要望】 来年度、宿

泊税の導入により市民生活に回す財源が1億4千万円増えるなか、少子高齢化政策の更なる積極的な取組を強く要望する。

【質問】 最近17年間の

熱海の人口減少率は全国の減少率の7倍であり、この間の熱海の出

生率は59・4%減少し、全国平均より26%も高い減少率である。市長は6年前に「就学前保育・教育の完全無償化」を表明したが、ま

だ達成されていない。国は3・5歳の幼稚園等の利用料を無償化し

た。市長は0・2歳児

の利用料無償化をなぜ実施しないのか。

【答弁】 保育施設利用

家庭と在宅保育家庭との間の負担の公平性をどのように担保するかという課題等があり、まだ実現できていない。

【要望】 それならば、在宅保育家庭には、支援金を支給して下さい。

外国人住民の現状・地域コミュニティについて／ ALT活用による効果と今後について



むろふしゅうぞう
室伏友三 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 外国人の移住目的
- ALTの導入理由と授業内容

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 年々、外国人移住

者が増えていることの課題や展望はあるか。

【答弁】 観光関連産業をは

じめ人手不足となっていること、また増加するインバウンド客への対応なども含め、外国人労働者の需要は今後も高まるものと考えており、外国人住民の増加は継続するものと考えている。

地域住民と外国人住民が共に暮らしていくために必要な施策を推進する体制を整備する事を検討している。

【質問】 施策推進と体制整備は具体的にどのようなことを目指すのか。

【答弁】 多文化共生を推進する室を設置する予定としている。

【要望】 その室には語学に堪能な職員の採用と予算の確保も検討いただきたい。

【質問】 ALTを導入して

英語教育にどのような変化や効果が得られているか。

今後の英語教育発展のために更なるバージョンアップや課題はあるか。

【答弁】 外国語でコミュニ

ケーションをとる際に、自分の思いを自分で伝えようとする児童・生徒が増えた。ALTの指導をはじめ、デジタル教科書等の教材も十分に活用しながら、児童・生徒が自ら進んで学びに向かい、学力の向上を図れるような授業や学びの環境づくりに力を入れていきたい。



質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記されている言葉についての説明です。

P2

カスタマーハラスメント

顧客等が企業に対して行う理不尽なクレーム・言動が、社会通念上不相当なものであり、労働者の就業環境が害されるものこと。



P2

OTA

「Online Travel Agent」の頭文字を取った単語で、インターネット上で、取引を行う旅行会社のこと。

P4

ダイバーシティ

多様な人材を組織やチームに採用したり、意見を幅広く取り入れたりすることで、組織の生産性や競争力を高める経営戦略のこと。

P5

パブリックコメント

地方公共団体などの公的な機関が、政策などを策定する過程で、趣旨・目的・内容等の事項を公表し、広く市民から意見を求め、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指す制度のこと。

P6

IoT

「Internet of Things」の頭文字を取った単語で、様々なモノをインターネットに接続する技術のこと。



議員研修会を開催しました

令和6年11月18日、「議会におけるハラスメントについて」と題して研修会を実施しました。議員がハラスメントに関する知識を深め、ハラスメントの防止に取り組むなどの目的で行われたものです。株式会社廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏を講師としてお招きし、特別職の公務員である議員に求められるコンプライアンス、ハラスメントの定義、具体的な事例などについてお話しいただき、理解を深めました。



11月定例会 議決結果（本会議）

〈市長提出の議案等〉

件 名	議決結果
議案第57号 令和6年度熱海市一般会計補正予算（第5号）	可決（多数）
議案第58号 熱海市部設置条例及び熱海市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員）
議案第59号 熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決（多数）
議案第60号 あらたに生じた土地の確認について	可決（全員）
議案第61号 字の区域の変更について	可決（全員）
議案第62号 静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	可決（全員）
報告第16号 専決処分の承認について（令和6年度熱海市一般会計補正予算（第4号））	承認（全員）
報告第17号 専決処分の報告について（市道路施設のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	報告
同意第 6 号 監査委員の選任について	同意（全員）
同意第 7 号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員）
同意第 8 号 教育委員会委員の任命について	同意（全員）
諮問第 3 号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし

11月定例会 賛成・反対が分かれた議案等（本会議）

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	稲村	川口	竹部	越村	赤尾	杉山	室伏	後藤	新野	金森	田中	泉明寺みずほ	橋本	山田	高井	
	千尋	健	隆	修	光一	恭平	友三	雄一	陽平	和道	秀宝	一実	景照	一幸		
議案番号	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	公明	明日熱	明日熱	梁山泊	梁山泊	市民ク	新政	共産	
議案第57号	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可
議案第59号	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可

議長（2番 川口健）は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可＝原案可決 否＝否決 認＝原案認定 採決結果 ○＝賛成 ×＝反対 退席＝退

会派名 成風会＝熱海成風会 公明＝公明熱海 明日熱＝明日の熱海

梁山泊＝自民党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク＝熱海市民クラブ 新政＝新政熱海 共産＝日本共産党



討論とは…議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明すること。

議案第57号令和6年度熱海市一般会計補正予算（第5号） 議案第59号熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例

反 対 高井一幸 議員

議案第57号について、当該補正予算に計上された「大阪・関西万博出展業務委託」については、この出展において熱海市民にどのようなメリットがあるのか見えず、貴重な税金は市民の福祉が一步でも前に進むよう使うべきであると考えため反対する。

議案第59号について、マイナンバーカードを使用したコンビニでの請求において、各種証明書類の交付を受ける手数料が100円安くなるとのことである。しかしマイナンバーカード持つのは任意であるため差別することになるのではないかと考えるため反対する。

●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第57号 議案第60号 議案第61号	可決 (全会一致)	議案第57号令和6年度熱海市一般会計補正予算（第5号）のうち、第6款観光商工費について、宣伝行事費として、昨年度に花火大会開催経費として篤志家から寄附があったものの開催に至らず、観光振興基金に積み立てられていた財源を活用し、来年2月21日に追加開催を予定する花火大会経費に係る補助金について追加補正をするものである。また第7款土木費について、道路維持費として、台風10号により被災した市内各所の道路施設の土砂等撤去に係る委託料並びに維持補修に係る工事請負費について増額補正をしようとするものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第58号 議案第62号	可決 (全会一致)	議案第58号熱海市部設置条例及び熱海市議会委員会条例の一部を改正する条例については、事務の改善を図るため、本市の内部組織を改編することとしたことから、関係条例について所要の改正をしようとするものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
議案第57号 議案第59号	可決 (賛成多数)	議案第59号熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例については、個人番号カード等を利用してコンビニエンスストア等に設置された端末機から各種証明書の交付を受ける場合における手数料の額を改めることとしたことから、本条例について所要の改正をしようとするものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第16号	承認 (全会一致)	必要な措置と認める。

●各委員会行政調査報告

各委員会が実施した先進地への行政調査について報告いたします。

観光建設公営企業委員会

調査日程 令和6年10月22日～24日

調査先及び調査内容

〈鹿児島県鹿児島市〉

公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会 「観光地域づくり法人（登録DMO）について」

観光地域のマーケティング、マネジメント、国内外のターゲット設定等具体的な戦略体系を基にKPIを設定し、市と役割分担・連携を図りながら取り組んでいる。本市が設立したDMO「熱海観光局」においても総合的な観光プラットフォーム機能を果たしていくうえで今後の観光戦略の参考としたい。

天文館商店街振興組合連合会 「南九州一の繁華街として誇る天文館商店街の取組について」

商店街が一体となり、地域の活性化や商店街の発展を目指し地元のイベント開催、商店街の魅力を発信するためのプロモーション活動、地域住民や観光客を対象としたキャンペーンなど様々な取組を行っている。商店街間の連携強化や取組を参考に、更に熱海市商店街の魅力を発信し地域の活性化、集客に尽力していくことが必要と感じた。

鹿児島市 「インバウンド観光推進プロジェクト関連事業について」
「ナイトタイムエコノミー推進事業について」

観光未来戦略に基づき三位一体となって、観光振興、経済波及効果流入人口の拡大に努めており、宿泊観光客を増やすことを念頭にナイトタイムエコノミー推進事業を推進している。本市においても、宿泊観光客を増やすことが最大の効果と考えており、花火大会以外のナイトタイムエコノミー事業について検討の余地がある。今後の観光戦略推進の参考としたい。



鹿児島市にて

総務福祉教育委員会

調査日程 令和6年10月7日～9日

調査先及び調査内容

〈長野県佐久市〉 「人口増加策について」

佐久市は、北陸新幹線の佐久平駅が平成9年に開業して以来、佐久平駅前を中心に再開発が進み、生活インフラの整備が急速に進んだ都市であることが見て取れた。また都会と自然が共存する特殊な環境に加え、保健・医療や教育体制も大変充実しており、こうした住環境の魅力に移住者が惹きつけられている状況が窺われた。なお佐久市の人口増加策はリモートワークの浸透と相まって、首都圏へのアクセスの良さを活かした魅力的な施策・補助制度を次々と打ち出している。本市においても、佐久市と同様、高速交通網の発達により首都圏から近く、自然環境が豊かであるからこそ、佐久市の取組を参考に、政策全体の中でどう活用できるか真剣に考えていく必要がある。特に首都圏リモートワーカー向けの移住促進施策は検討の余地が大いにあると思う。今後も引き続き検討していく。

〈石川県金沢市〉 「金沢型学校教育モデルについて」
「小中一貫英語教育について」

金沢型学校教育モデルは目指すべき金沢の子ども像を明確に示した上で、教育現場での指導方法にまで落とし込まれ、愛郷心や地域への想いを涵養し理解を深める土台となっている。それはトップダウンの理念型や押し付け型ではなく、実際に子どもたちと接する先生たちの意見や考えが十分に反映されているからこそ、決して現実ばなれした空理空論ではなく、現実の具体的なものとして運用され、金沢市内の全ての小中学校で当然のように浸透している。本市においても、金沢市のこのような独自の取組や“姿勢”を参考に、教育現場の声を重視・対話しながら、教育行政の今後進むべき針路を定めていくことが必要であると感じた。



金沢市にて

全国温泉所在都市議会議長協議会の 役員会などを開催

熱海市議会議長が会長を務める、全国温泉所在都市議会議長協議会（加盟市：103市）の役員会が、11月6日に東京都の都市センターホテルで開催されました。会務報告などが行われた会議の終了後に、実行運動を行い、「温泉所在都市に対する税財源措置及び施策に関する要望書」を総務省、国土交通省、厚生労働省、環境省、全国温泉振興議員連盟会員等に提出しました。



次回

熱海市議会 令和7年2月 定例会



主な日程

2月20日(木)	10:00～	本会議(議案上程)
3月6日(木)	10:00～	本会議(質疑・一般質問)
3月7日(金)	10:00～	本会議(質疑・一般質問)
3月10日(月)	10:00～	広域行政推進特別委員会
	13:00～	公共施設整備等特別委員会
3月11日(火)	10:00～	観光建設公営企業委員会
3月12日(水)	10:00～	総務福祉教育委員会
3月14日(金)	10:00～	本会議(審議採決)

※日程は変更になる場合があります。

次回の市議会だよりは、5月9日発行予定です。
 <熱海市議会>議長：川口 健 副議長：金森 和道

<議会だより編集委員会>委員長：橋本 一実 副委員長：杉山 恭平
 委員：室伏 友三・新野 陽平・高井 一幸・山田 景照